

(1) 大津市新型インフルエンザ等対策行動計画の改定についての意見と今後の方針

	該当箇所		意見内容	方針
	発言者	指摘箇所		
1	大津赤十字 辻医師	③サーベイランス (資料2 P7)	準備期には「滋賀県と連携した疑似症サーベイランスによる新型インフルエンザ等の早期探知体制の整備」があるが、初動期、対応期には疑似症サーベイランスが記載されていない。初動期、対応期にも実施すべき。	御意見を踏まえ、滋賀県と同様に初動期に疑似症サーベイランスの実施について記載するよう検討します。
2	医師会 尾辻医師	⑤まん延防止 (資料2 P9)	まん延防止の部分で、「社会福祉施設職員の知識向上に向けた取組の実施」になっているが、社会福祉施設職員だけでないので、他の分野と一緒に「社会福祉施設等」という表現にしてもらった方が良い。	御意見を踏まえ、「社会福祉施設等の職員の知識向上」と記載するよう検討します。
3	大津市民 辻医師	⑧治療薬・治療法 (資料2 P12)	抗インフルエンザ薬の備蓄薬について、有症時、発症してからの使い方と予防投与は違う。予防投与は、対象とその投与期間を定めないと、使い続けことになるのでマニュアル等で決める必要がある。予防投与は、具体的には現場で決めないといけない部分が大きいかなと思うが、使う範囲については、むやみやたらに使うというものではないという認識でいてほしい。	御意見として承ります。 国が示す指針等を参考に適切に対応します。
4	大津市民 辻医師	⑨治療薬・治療法 (資料2 P12)	昨今、医薬品の供給が不安定になることが多く、せき止め解熱剤等の供給自体も不安なところがある。備蓄は具体的には難しいが、国の協力によって供給をしっかりと安定させていただくように平時からお願いしたい。	御意見として承ります。 感染症有事に供給不足を把握した際は滋賀県と連携して対応します。

5	滋賀医大 中野医師	⑩保健 (資料2 P14)	県は「医療従事者のメンタルヘルス対策」について強く言われていた。市の計画には記載しないのか。	御意見を踏まえ、医療従事者のメンタルヘルス対策について、滋賀県の行動計画と整合性を図った内容で記載するよう検討します。
---	--------------	------------------	--	---

(2) 大津市新型インフルエンザ等発生時の住民接種実施計画の策定について

	該当箇所		意見内容	方針
	発言者	指摘箇所		
1	医師会 尾辻医師	接種会場の候補について (資料3 P5)	環境面についての意見。個別接種の件で、酷暑のさなかに、高齢者が体育館に連れて行かれたことにより、体調不良から病院のお世話になったという話が頻繁にあった。可能であれば個別接種のところに、要介護者も入れるような運用も検討してもらいたい。	御意見を踏まえ、運用面で配慮します。
2	医師会 尾辻医師	接種会場の候補について (資料3 P5)	駐車場から会場までが遠く、行っただけでふらふらになって待っていたというような話があった。体育館は、玄関に降ろして待つてとかになっていないので、ある程度運用で考えたらよい。	御意見を踏まえ、運用面で配慮します。
3	医師会 尾辻医師	接種会場の候補について (資料3 P5)	駅の近くなどの体育館で、交通の便が良い場所でも時間帯によっては学生等で満員になる。密になり、インフルエンザ、コロナ、別の感染症に罹患する可能性もある。体育館等を予防接種会場に使用することも平時から検討し、配置など対応しておかないといけないと思う。	御意見を踏まえ、運用面で配慮します。
4	医師会 尾辻医師	集団接種中止の基準 (資料3 P6)	熱中症のアラート等が出ているときの対応もある程度基準を入れていただいた方がいいのではないと思う。	夏期実施の際は予約時に熱中症予防に対する周知をするなど、安全が確保できるよう検討します。